

不登校などの若者 フリマで自立支援

横浜市西区

不登校やひきこもりといった悩みを抱える若者の支援団体による催し「フリ・フリ・フリマ」が8日、県立青少年サポートプラザ(横浜市西区)で開かれた。フリーマーケットや縁日などのイベントで、来場者とのコミュニケーションを通じて若者たちの自立を促すのが狙いだ。

県と支援団体でつくる実行委員会の主催で、今年で8回目。県内でフリースペースやフリースクールの活動を展開する16団体が参加し、手作り小物や古着、軽食の販売などで団体間の交流も深めた。

屋内外のブースには約350人が訪れ、若者たちが「いらっしゃいませ」「出来たての焼きそばはいかがですか」などと、熱心に接客。

イベント来場者に笑顔で接客する若者たち

横浜市西区



実行委員長を務めたNPO法人「フリースペースたまりば」(川崎市高津区)の佐藤有樹さん(36)は「子どもたちの自立につながる貴重な体験の場となった。今後も続けていきたい」と、活動への理解と支援の輪の広がりに期待を寄せた。

(香川 直幹)